

岐阜聖徳学園大学 教育学部カリキュラム・ポリシー

岐阜聖徳学園大学では、建学の精神にのっとり宗教的情操を基調として、幅広い教養と専門的知識、技術を身につけた社会に有為な人材を育成することを目的に教育課程を編成しています。

教育課程は各学部で独自に編成されますが、建学の精神の理解を図るため、「宗教学」を全学共通の必修科目として開講しています。

教育学部学校教育課程では、実践的指導力に優れた義務教育教員等の養成を目指して、初等教育・中等教育、または保育・初等教育を統合して学ぶことのできるカリキュラムを編成しています。

学校心理課程では、教育を心理学的な視点で考えることのできる教員ならびに専門的職業人の養成を目指して、教育に応用できる心理学を学ぶことのできるカリキュラムを編成しています。

1、2年次には、大学教育への導入のための「基礎セミナー」、基礎的な学力を養うための教養基礎科目を開講するほか、子ども理解・教職理解のために、「学校ふれあい体験」、「教育実践観察」等の体験型の授業を導入し、早くから子ども・学校現場に触れる機会を設けます。1年次から、教職の意義、指導法、生徒指導等を学ぶための教職科目、実践的な教師力の養成ならびに専門の学芸を教授するための教科科目を開講します。教科科目は、教師力の養成を主眼として、各課程・専修の基盤となる学問の体系に基づき、精選した内容で開講します。3年次には「専門演習」、4年次には「卒業研究」を必修で開講し、専門的な知識・技能を深めます。

以上のカリキュラムを通じて、教員、保育士、専門的職業人がもつべき知識と技能、豊かな人間性を育みます。